

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅱ-1-2 消防防災対策の推進
---------	-------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	河川課長 田中 悟	電話番号	0852-22-5195
----------	-----------	------	--------------

事務事業の名称	水防活動		
目的	(1) 対象	河川流域や海岸沿岸域の居住者及び一般県民	
	(2) 意図	水災害から生命・財産を守る	
事業概要	河川流域や海岸沿岸域の居住者及び一般県民に対して、水災から生命・財産を守るため水防活動を実施する。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	水災死者数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
式・定義	水災死者数	実績値	0.00	0.00	0.00	0.00			
		達成率						%	
指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位		
	目標値								
式・定義	実績値								
	達成率						%		

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	71,077	70,405
うち一般財源 (千円)	71,077	68,135

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

平成26年度も水災死者はなかった。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

水災死者数ゼロを達成することができた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

②困っている状況が発生している「原因」

③原因を解消するための「課題」

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）